



ほたるっ子

磐梯第一小学校
学校だより第5号
令和3年6月15日
文責：校長 酒井康雄

うちどく

家読ウィーク、ご協力ありがとうございました！

6月から2月までの毎月第2週が、家読（うちどく）の実施期間です。読書というと、「読むのが面倒くさい。」というお子さんもいるのではないのでしょうか。単に読書に親しみ、読書習慣を身に付けるだけでなく、家族間のコミュニケーションを深めることが目的です。

自分の小学校の頃を振り返ると、いつも図鑑を借りていました。親に買ってもらう本と言えば図鑑でした。愛読書が動物図鑑という変わった子どもだったようです。（妻が近所から聞いたようです。）図鑑以外と言えば、ファーブル動物記やシートン動物記、椋鳩中の生き物の本など、生き物に関するものが中心でした。親も虫の話を見捨てることなく、私の相手をしてるのがコミュニケーションだったのかと思います。

今でも寝る前は図鑑を見て、一種でも多くの鳥やこん虫など、出合った時に名前が言えるように覚えています。そして、図鑑で見た生き物に出会った時の喜びから、また図鑑を見てもっと覚えるといったくり返しで、今に至っています。

必ずしも文学作品のような本を読まなくても、家族間のコミュニケーションのきっかけになったり、お子さんが日常生活を楽しむ糧となったりする読書を期待しています。



【車にいつも入れておく図鑑（30年以上前購入）】

パンジーからマリーゴールドへ

学年ごとに植え替えました！



校舎にそって、学年ごとの花壇があります。先月、それぞれの花壇の半分にサルビアを植えました。運動会まで盛り上げてくれたパンジーに代わってマリーゴールドを植えました。

青空の中、黄色やオレンジ色のマリーゴールドで飾られた通路を水泳の持ち物をたすき掛けしながら、ふれあいプールへ送迎するバスの出発時刻に遅れまいと走っていく子どもたちの光景を目にすると、躍動感あふれる初夏の訪れを感じさせられます。